

# 訪問看護師のための在宅医療における 感染予防研修

NPO 法人 HAICS 研究会

〒101-0064 千代田区猿樂町 2-7-3 川崎パークビル 7 階

## 助成事業の概要

感染対策は、病院など集団的に医療やケアを提供する場所だけの課題ではなく、在宅医療においてもその質の確保と患者の QOL 向上のために不可欠な課題の一つです。

特に近年、高齢化に伴う医療保健福祉体制の変革再編、診療報酬の改正等により、重症度の高い患者の在宅での医療やケアが促進され、その結果、在宅医療において従来以上に高度な医療が実施され、より専門的なケアが求められるようになってきています。

それに伴って感染症のリスクも増大しており、在宅医療における感染の予防と対策は患者や家族の QOL の観点からも、また、在宅医療に従事する医療者の安全の観点からも重要かつ喫緊の課題となっています。

しかしながら、従来在宅医療においては感染予防に対する取り組みは十分には行われていませんでした。また、訪問看護師に対する教育・研修では、感染予防に関する内容は決定的に不足していました。

今回の助成事業は、在宅医療の主体的な担い手である訪問看護師に対し感染予防の知識と技術を具体的に学習してもらう講習会を開催し、在宅医療の質の向上ならびに、患者と家族の QOL の向上に貢献することを目的としています。

## 事業の成果

今回貴財団からの助成事業として 2012 年 12

月に埼玉県大宮市において「訪問看護師のための感染対策セミナー」を開催しました。

感染管理認定看護師の印田宏子先生による「感染予防の視点で見直す在宅ケア」と歯科衛生士の牛山京子先生による「口腔ケアはなぜ大事？」の二つの講義を提供し、そのあとで、他の二人の感染管理認定看護師も交えて日常の業務の中で直面している感染予防の問題点などについての Q & A を行いました。

参加人数は 32 名と当初予定より小数でしたが、アンケートの結果をみると 5 段階評価（1：非常に役に立った、2：役に立った、3：普通、4：やや不満、5：不満）で上位 2 位（1 と 2）の合計が 89.5%と高い満足度が得られ、感染対策に関する正しい知識技術を学びたいというニーズがあり、今回の講習会がそのニーズに応えるものであったことが窺われました。セミナーの継続参加についてのアンケートで 68%が次回以降の参加を希望していることも今回の講習会が成功であったことを裏付けていると思われました。

おもな参加者の感想を以下に紹介します。

☆講義「感染予防の視点で見直す在宅ケア」に関して。

\*現場で生かせそうな点がいくつかあった。

\*在宅では介護や経済力などの問題がからんでくるので十分な感染予防対策をとれない状況も多々ありますが現状を振り返り本当にこのままでいいのか…と問い直す機会になり良かったと思います。

#### ☆講義「口腔ケアはなぜ大事？」に関して

＊7～8年前より肺炎予防には口腔ケアと言われ知ってはいたが今回具体的に理解する事が出来た。

#### ☆継続参加希望について

＊ステーションでの研修を担当しているので継続して参加しスタッフに伝えていきたい。

今回の講習会に受講した訪問看護師が在宅における感染予防の重要性やその方法を理解し、今後の活動に役立てることにより、在宅の患者のQOLの向上に貢献できたものと考えます。

残念ながら今回の助成事業では一カ所での講習会しか開催できませんでしたが、今後このような講習会をより頻回に、全国各地で開催していくことが重要だと考えます。

## ■ 成果の広報、公表

今回事業の成果は隔月開催の HAICS 研究会のメディカルアドバイザー会議で報告しました。毎年2月に定期的に発行しているニュースレターにも掲載し広報します。

また、独自に実施した他の講習会の結果も合わせて、研修の効果や今後の課題を学術報告としてまとめ、来年度の日本環境感染学会や日本在宅ケア学会で演題発表するべくプロジェクトチームで準備中です。

## ■ 今後の展開

今回の助成事業により、訪問看護師には感染予防の知識と技術を体系的に学びたいというニーズがあることがあらためて確認できました。今後は提供する情報の内容と提供の方法をさらに検証し、必要に応じて動画教材なども活用して全国各地で同様の講習会を開催していきたいと考えてい

ます。また、講義だけでなく実習などを交えたより具体的で参加型の講習会も検討する必要があると考えます。